

1. 調査報告概要表

作成日 平成19年11月17日

【評価実施概要】

事業所番号	1275000089
法人名	株式会社 ユーアンドエヌ
事業所名	グループホーム いきいきの家くりもと
所在地	千葉県香取市高萩765-1 (電話) 0478-70-5051
評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8
訪問調査日	2007/11/10

【情報提供票より】(平成19年9月14日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 11月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	17 人 常勤 17人, 非常勤 0人, 常勤換算 17人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	1 階建ての 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷金	有() 円		無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 300,000 円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	500 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	17 名	男性	5 名	女性	12 名
要介護1	1 名	要介護2	3 名		
要介護3	6 名	要介護4	3 名		
要介護5	4 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 81.2 歳	最低	75 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	栗源病院・県立佐原病院
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然に囲まれた閑静な環境の中に「グループホームいきいきの家くりもと」がある。バス停の前に施設があり、分かりやすい場所である。玄関には花壇があり、明るくやさしい雰囲気がある。敷地内には畑があり、職員と入居者が共同で季節の花や作物を栽培しており、日々の楽しみと生活の活性化につながっている。地域の方々やボランティア・小学生の仕事体験の受け入れなどを積極的に行っていると共に、地域活動にも積極的に参加しており、地域交流の促進に努めている。管理者が看護師であり、医療の連携体制がしっかりとれているので安心である。また、緊急時の相談やショートステイ及び重度の方の受け入れも行って、地域の信頼も得ている。職員全員が常勤職員であり、ユニット間のローテーションも適切になされているので勤務体制がしっかりしている。また、職員の退職が少ないので入居者に対する円滑な支援が継続できている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では、日中に入居者が居室にすることが多いことを指摘された。評価結果に対しては、職員全体で話し合いながら対応方法を工夫し、改善に努めている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	前回までの自己評価は職員全員で行っており、評価の意義を共有し、サービスの質の向上に努めてきた。今回は管理者のみで作成したが、他の職員も評価の意義を理解しており、業務改善と質の向上に対して前向きな姿勢を示している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	地域の関係者を構成員として定期的に開催しており、活動報告・勉強会・意見交換等を行っている。関係者の意見等に耳を傾け、業務の改善とサービスの質の向上に努めている。地域のケア会議に定期的に参加し、会議の次第作成や記録を行っている。また、市の介護支援ネットワーク会議にも参加しており情報交換を行い地域協同に努めている。その他、介護保険の認定調査委員や認定審査委員を市から受託しており、市との協同と連携も図っている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の来訪時に、個別に話し合う時間を設けて入居者の状況報告を行うと共に、意見・要望等を聴取している。また、運営推進会議を活用して家族の意見・要望等を確認している。苦情はほとんどないが、要望や意見に対しては前向きに受け入れてサービスと運営の向上に努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域活動の参加や、地域の方々の受け入れを積極的に行っており、地域交流の促進と入居者の生活の活性化に努めている。また、災害対策も積極的に行っており、消防署や地域の方々と連携及び協力体制を構築しながら災害時の対応に備えている。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員全員で話し合いを行った上で、処遇内容の向上を謳った独自の理念をつくりあげている。		独自の理念に地域密着型サービスとしての役割を目指した内容を付加し、さらなる地域生活の継続支援と地域との関係性の強化を目指していただくことを期待します。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所内に理念を掲示すると共に全職員で確認を行い共通理解を図っている。理念を中心として職員と入居者が親しみをもち、家庭的な雰囲気を楽しんでいただくことに努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており、地域の活動に参加すると共に、掃除や草取りを共同で行っている。地域の小学生の職業体験やボランティアの受け入れなども行っており、地域交流の促進と入居者の生活の活性化に努めている。また、地域の方々も気軽に来訪しており、お茶を飲みながら友好的な関係をつくっていると共に、認知症に関する相談にも対応している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の自己評価は職員全員で作成していたが、今回は管理者のみで作成した。評価結果に対しては少しずつ改善する努力をしており、ミーティング等で職員全体で試行錯誤しながら対応方法を決めている。		自己評価を職員全体で行うことにより、職員一人一人の気づきを尊重しながら、運営及びサービスの向上に努めていただくことを期待します。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市職員・民生委員・社会福祉協議会・家族等を構成員として定期的を開催しており、グループホームの活動報告・キャラバンメイトの勉強会・意見交換等を行っている。会議の開催により、グループホームの改善とサービスの向上につなげている。		

【千葉県】グループホームいきいきの家くりもと

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域のグループホーム・病院・在宅介護支援センター・社会福祉協議会及び市の健康福祉課等が共同で行う地域ケア会議に定期的に参加しており、会議の次第作成や記録を行っている。また、市の介護支援ネットワーク会議にも参加しており情報交換を行うと共に、地域協同に努めている。その他、介護保険の認定調査委員や認定審査委員を市から受託している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月、全入居者の家族が来訪しているので面会時に状況報告をしている。また、状況に変化が見られる場合は随時電話で連絡している。毎月の請求時に預かり金の収支報告と受診報告を文書で行っている。季刊誌の「べにこまち」を配布しており、職員紹介などを含めて事業所の活動を伝えている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議を活用して家族の要望などを確認している。苦情はほとんどないが、要望や意見に対しては前向きに受け入れてサービスの向上に努めている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	退職者が少ない為、入居者に対する影響はほとんどない。ユニット間での異動は行っているが、全職員が両ユニットを経験し、情報を共有することにより入居者への円滑な対応ができています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修及び内部研修を、随時実施しており職員の質の向上に努めている。また、新人研修はマンツーマンで行っている。特に接遇に関する研修は年4回実施しており、質の高い入居者対応を心がけている。研修報告書はしっかりまとめられており、研修内容の共有化が図られている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	香取市・千葉県・全国のグループホーム連絡会に加入しており、交流の機会を確保している。特に、市内のグループホーム連絡会では定期的に交流会を行い、勉強会や困難事例の検討会及び双方の見学会などを通して全体のレベルアップを図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>施設の理念に基づき職員が笑顔で対応していると共に、本人の希望に沿った対応をすることにより、円滑な入居生活が送れるように支援している。体験入居も実施しており、そのまま入居になるケースもある。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>共同生活を通して、双方の信頼関係の構築に努めている。また、一方的な支援にならないように、個別に対応を検討している。職員の対応により入居者の対応が変化するので、常に入居者は心の鏡だという認識を持ち、適切な対応につなげている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>独自のアセスメント方式とセンター方式を組み合わせ課題分析を行い、職員全員で検討している。入居者に合わせた対応により、確実な意向把握に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人の意向や希望を把握しながら情報収集を行い、計画を作成している。計画は本人及び家族も含めて共同で作成しており、本人のカンファレンス参加や家族への相談及び意向の把握を通して、よりよい支援につなげている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>支援経過記録に計画書をファイルすることにより、常に計画内容を意識した支援に努めている。定期的に評価を行い、計画の見直しを行っている。入居者の状態が変化した場合は、職員全員で検討した上で、随時見直しを行っている。</p>		

【千葉県】グループホームいきいきの家くりもと

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人の状況にあわせた対応ができるように医療の連携体制を確立していると共に、ショートステイの受け入れ体制も整備し緊急時の対応も行っている。その他、受診の支援や普段の交流を通して地域の相談支援も行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族の希望により、かかりつけ医を決めていただいている。家族が受診に付き添えない場合は職員が支援しており、家族に受診報告をしている。また、受診記録の整備や日々申し送りの徹底により、情報および対応の共有化を図っている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に対する方針を確認し、契約を交わした上で対応している。対応については関係者と何度も話し合いを行い、その人らしい生活が送れるように支援している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の書類等については鍵付の書庫で保管すると共に、パソコンの情報についてもパスワード設定により保護している。季刊誌等を作成する場合には必ず家族に確認してから写真や情報を掲載している。定期的な研修やミーティングにより、言葉かけに対する注意を促している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の希望を確認しながら、その人のペースで日々の生活をおくっていただいている。個々の希望や状態に合わせて運動会・夏祭り・誕生会などの合同行事やリハビリ・作品作りなどを行い、生活の活性化を図っている。		

【千葉県】グループホームいきいきの家くりもと

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	本人の希望や能力に応じて、食事の準備や後片付けを職員と共同で行っている。週に1回フリーメニューの日を設け、入居者の希望を取り入れて食事作りを行い、楽しみを共有している。調理師免許を持った職員もあり、充実した食事作りに努めている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望に応じて入浴を実施している。リフト浴もあり入居者の状態に合わせた入浴の支援ができるようになっている。拒否がある場合は、声かけを工夫して入浴していただいたり、難しい場合は、清拭で対応するなど柔軟な支援を行っている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	年間及び月間のレクリエーション計画を作成し、誕生会や季節のレクリエーション等を実施し、入居者の楽しみや生活の活性化につなげている。日々のレクリエーションについては特に内容は計画せず、その日の気分や状態に合わせて行っている。リハビリ体操や本人の能力に応じた生活活動の実施により身体機能の維持・向上に努めている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	体調や天候に応じて日々散歩を実施している。また、車で買物にも出かけている。定期的に外出会も行っており、戸外での食事や見学などを楽しんでいる。バスを利用し、入居者全員で花見を行っており、今後も全員で遠方に外出できることを目指している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関の鍵を開放しており、自由に出入りができるようになっている。チャイムを設置することにより、職員が目が行き届くようになっており、入居者の安全も確保されている。個人の居室の鍵は自由に施錠できるようになっており、プライバシーも確保されている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力のもと、定期的に非難訓練と通報訓練を実施しており、災害対策を行っている。また、火災時の対応マニュアルも作成されており、全職員に周知されている。地域との協力体制についても積極的に構築しており、災害時の対応や避難場所について話し合っている。		

【千葉県】グループホームいきいきの家くりもと

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本人の好みや能力に合わせて適切な食事提供を行っている。食事や水分摂取の記録もしっかり行っており、摂取量が少ない場合は、おやつや点滴で必要な栄養を補給している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は明るく、対面テーブル・ソファ・畳のスペースがありくつろげる空間となっている。キッチンと共有空間の障壁が少なく、お互いが向かい合えるようになっている。トイレや浴室については、必要箇所に手すりを設置してあると共に、スペースも確保されている。1つのユニットにはリフト浴があり、入居者の状態に合わせた入浴ができるよう配慮されている。施設内には各入居者の名前入りの写真が掲示してあり、お互いを認識できるように工夫している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の希望により馴染みのものを持ち込むことが可能であり、居心地よく安心して生活ができるようになっている。また、入居者の状況に応じて、転倒時の安全対策も行っている。		